

ヤフーのeコマースサービスにおいて、全象牙製品の取引を2019年11月1日より禁止します

ヤフー株式会社は、これまで種の保存法に照らして国内で適法な象牙取引の機会を提供してきました。しかし、ネットオークションサービス「ヤフオク!」を通じて、国内にて取引された象牙が、その後外国へ違法に持ち去られ、外国の税関で摘発される事件が複数例報告されたことを確認しました。本件を深刻に捉え、また象牙取引を巡る国際情勢に鑑み、環境団体からの助言も踏まえ慎重に検討を重ねた結果、2019年11月1日より、ヤフーのeコマースサービスにおいて、全象牙製品の取引の禁止を決定しました。

<WWFジャパン事務局長 筒井隆司氏のコメント>

「WWFジャパンは、TRAFFICとともに、象牙の取扱いについてヤフー株式会社と意見交換をして参りました。今回の決断は、日本における野生生物の違法取引の課題解決のために前進となるものです。国際的に象牙取引の政策強化が進む中、同社が取引継続のリスクを十分に考慮し、自主的に取引停止の判断を下したことを歓迎します」

<WWF (World Wide Fund for Nature) について>

1961年にスイスで設立された地球環境保全団体です。人と自然が調和して生きられる未来を築くため、現在100カ国以上で、希少な野生生物の保護や、森や海などの自然環境の保全、自然資源の持続可能な利用、地球温暖化の防止などを目指したプロジェクトを展開しています。

・ [WWF](#) (外部リンク)

<TRAFFICについて>

ワシントン条約が発効した翌1976年に設立され、英国ケンブリッジに本部を置く国際組織です。野生生物取引に関する調査・モニタリングを中心に、過度な利用から野生生物を守り、持続可能なレベルで管理される社会の実現を目指して、活動を続けています。日本においては、WWFジャパンの野生生物取引監視部門として活動しています。

・ [TRAFFIC](#) (外部リンク)